

かわさき 図書館だより



図書館ホームページ: <http://www.library.city.kawasaki.jp/>

スマートフォン専用の 図書館ホームページができます

多くの方にご要望をいただいていたスマートフォン専用のホームページを平成30年3月(予定)からご利用いただけるようになります。

このことにより、スマートフォンからのご利用が今までより簡単になります。

PC版ホームページトップ左上の「スマートフォン用のホームページはこちら」バナーから、ご利用いただけます。

※スマートフォン専用のため、パソコンではご利用いただけません。



PC版ホームページトップ



スマートフォン版ホームページトップ

※画面は開発中のものです

スマートフォン 専用ホームページで できること

「蔵書検索・予約」

- ・かんたん蔵書検索
- ・詳細検索

「利用者メニュー」

- ・貸出照会
- ・予約照会
- ・メール登録変更

「図書館情報」

- ・図書館案内(カレンダー、地図、返却ポスト)
- ・イベント情報

自動車文庫の蟹ヶ谷ポイントがスタート!

図書館から遠い方のために、自動車文庫が市内の各地域を巡回しています。

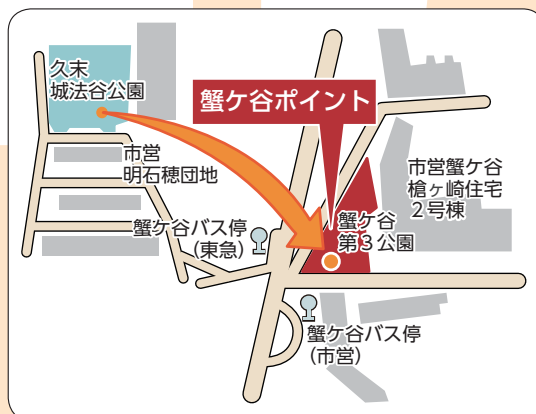
長らくご愛顧いただきました高津区の「久末ポイント(高津区久末1339-1 久末城法谷公園)」につきまして、地域の皆様が、よりご利用しやすいように主要道路に隣接し、バス停も近い「蟹ヶ谷ポイント(高津区蟹ヶ谷3-7 蟹ヶ谷第3公園)」に変更しました。

皆様のご利用をお待ちしております。

開催日 第1・第3火曜日

開催時間 午前10:40~11:20

詳しくは、宮前図書館(TEL 888-3918)にお問い合わせ下さい。



ご参加ありがとうございました

平成29年度 川崎市立図書館 読書普及講演会

「孫の語る漱石 - 夏目漱石生誕150年 -」



画像を使いながら、にこやかに
お話いただきました

読書に親しんでいただくために毎年開催している読書普及講演会が、平成29年10月25日午後6時30分より、中原市民館を会場に開催されました。今年は夏目漱石生誕150年に因み、漱石の孫である夏目房之介氏を講師にお迎えし、「孫の語る漱石 - 夏目漱石生誕150年 -」というタイトルでお話いただきました。募集定員を上回るお申込みがあり、当日は240名の方々が参加されました。

夏目氏は、漱石の写真などを使いながら、視点・時代によって変わる漱石のイメージを様々な角度から、時にユーモアを交えてお話しくださり、会場は笑いが絶えませんでした。参加された方の感想でも、「面白かった」「ユーモラスな講演でとても満足でした」といったものが多くみられました。また、「祖母である漱石の妻・鏡子夫人の思い出話が良かった」という声もありました。「もう一度じっくり読んでみたい」「改めて作品を読んでみようと思います」という感想も多く、文豪・漱石に親しみをもっていただけたようです。

第34回

このコーナーでは、川崎をもっとよく知り、もっと楽しむための本を紹介しています。今回は「街道」をテーマにした本を紹介します。



A：『ホントに歩く大山街道-未知の道シリーズ2』

中平龍二郎／著 風人社 2007

江戸時代から大山詣のルートとして多くの人々が歩いてきた大山街道を著者が実際に歩いて取材し、赤坂御門から大山までを13の区間に分けて地図と写真とコラムをセットにして解説しています。現存しないルートについても地図上で詳しく解説し、街道沿いの旧跡を数多く取り上げて地図と580枚の写真で紹介しており、街道の歴史と庶民の暮らしの面影が感じられます。13の区間は平均して6kmほどで、目標物が詳細に示されており、大山街道の散策を楽しめるものになっています。



A

B：『かわさき散歩-道と川と山の歴史をたずねて』

川崎多摩歴史研究会／編 21世紀川崎教育フォーラム 2014（第5版）ほか

旧東海道、府中街道、大山街道、津久井道、多摩川、多摩丘陵を歩いて、史跡などを巡ります。2時間から3時間で歩く49のコースが紹介されていて、目に触れるものから何年も前の人々の暮らしや願いが感じ取れます。

もともとは、小中学生向けの歴史読本として川崎市立小学校の教員でつくる「川崎多摩歴史研究会」の有志の方々が編集されたものを、改訂したものです。



B

旧東海道を歩くコースでは「東海道中膝栗毛」の弥次さん喜多さんが奈良茶飯を食べに川崎宿の万年屋に立ち寄った場面が紹介されています。また、「散歩一口メモ」というミニ知識が随所に盛り込まれていて、親しみやすいものになっています。

C：『府中街道 付・だいし道』

川崎市立多摩図書館／編 川崎市立多摩図書館 1974

川崎大師から大師道を経て府中街道をたどり、各地で明治生まれのお年寄りの方々から古い記憶を聞き取り調査して文章に残すという地道な作業によってまとめられた貴重な資料です。明治の終わりごろの、今では人の記憶から消えてしまったような生活の歴史が綴られています。昭和49年の出版で、郷土の歴史を研究する川崎市立小学校の教員の方々によって書かれたものです。

他にも同様の作品として昭和48年出版の『大山街道 二子から上有馬までをたずねて』があります。



C

文化勲章受章おめでとうございます

東京理科大学学長で川崎市在住の藤嶋昭氏が、2017年の文化勲章を受章されました。藤嶋氏は、川崎市科学教育アドバイザーをはじめ、かわさき市民アカデミーの理事長を務められるなど、川崎の教育・文化の発展向上にもご尽力いただいております。川崎市立図書館でも、平成15年度の読書普及講演会で「光の魔法が未来をつくる」というタイトルでご講演いただいております。

文化勲章受章を記念して、川崎市立図書館（分館・閲覧所を除く）では、著書を集めた特集コーナーを設けました（一部の館では終了）。また、藤嶋氏からサイン入り著書等を多数ご寄贈いただきました。

藤嶋氏の著作の一部をご紹介します。



●『太陽と光しよくばいものがたり』

藤嶋 昭 他／かこさとし／共著 偕成社 2010

光触媒の仕組みと、光触媒を利用した研究を、子どもにもわかりやすく説明しています。図書館のお薦めする「かわさき 子ども読書100選（小学校高学年版）」にも入っています。

●『第一人者が明かす光触媒のすべて -基本から最新事例まで完全図解』

藤嶋 昭／著 ダイヤモンド社 2017

東海道・山陽新幹線のみぞ号の光触媒式空気清浄機、成田国際空港の光触媒テントなど、私たちの身近なところでも光触媒の技術は生かされています。光触媒の基本から最新事例まで、多くの図・写真とともに紹介されています。



中原図書館 特集コーナー



祝・川崎フロンターレJ1リーグ初優勝!

川崎フロンターレが2017J1リーグ優勝を果たし、念願の初タイトルを獲得しました。

川崎市立図書館では、川崎フロンターレから『川崎フロンターレ オフィシャルマッチデープログラム』2017シーズン分もご寄贈いただく予定です。川崎フロンターレのホームスタジアムである等々力競技場でのゲームの際に発行される情報誌で、試合の見どころや相手チームの情報、選手のインタビューやコラムなど読み応えのある記事が満載です。初優勝までの軌跡をたどってみませんか。

※中原図書館内でのみ閲覧いただけます（貸出はできません）。6階レファレンスカウンターにてお申込みください。

高津図書館の休館と工事終了のご案内

高津図書館は改修工事の足場撤去及び工事終了に伴う全館復旧のため、下記の日程で臨時休館いたします。

・休館日 平成30年2月15日(木)～3月2日(金) ※この期間は返却ポストも利用できません
平成30年3月12日(月)～3月14日(水)

・平成30年3月15日(木)から通常通り開館します(2階フロアもご利用いただけます)

※今後も老朽化対応の大規模工事を予定しており、ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いいたします。

お問い合わせは 高津図書館 電話 044-822-2413

図書館長

お薦めの一冊



このコーナーでは、川崎市立図書館の館長がお薦めの1冊をご紹介します。

川崎図書館大師分館長 **岩城 美由紀**

■向田邦子著 『眠る盃』から、「字のない葉書」

父は葉書に自分宛の宛名を書き、まだ字が書けなかった娘に「元気な日はマルを書いて、毎日一枚ずつポストに入れなさい」と言って聞かせた。娘から初めての葉書が届いた時、紙いっぱいはいみ出すほどの、赤鉛筆の大マルが書かれていたが、次の日からマルは急激に小さくなっていき、小マルはバツに変わり、間もなくバツの葉書も来なくなった。

終戦の年の春、小学校一年の著者の妹が学童疎開をすることになり、妹の出発が決まった時、父親と妹、そしてその家族のことを描いた作品です。

この作品を読むと、著者の幼い妹の疎開先での厳しい状況や寂しさに、心うたれますが、帰宅する妹を迎える家族の温もりが一層心に残ります。日頃から厳しい父親が、茶の間から裸足で飛び出し、娘の肩を抱き、声を上げて泣く場面は情景が浮かんで涙を誘います。この「字のない葉書」の中で、著者は特に父親に対して身内を贖済するわけではなく、あからさますぎるくらいの表現をしているのですが、そ

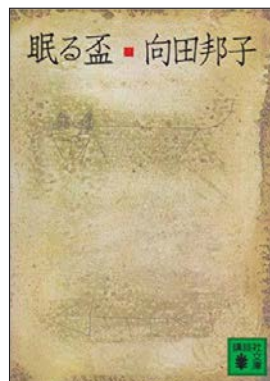
こに愛があり、共感できます。

『眠る盃』には、他にも著者の身の回りで起きたことや幼い頃の思い出、家族、食べ物、飼い猫、人物のことなど、50以上の短いエッセイが書かれています。ユーモアがあり、幸せな気分にもさせてくれるものもあれば、ちょっとほろ苦い気分になるものもあります。

私がこの本に出会った学生時代、向田邦子さんは飛行機事故で他界されてしまいましたが、今も残された作品を時々読み返し、身近な方のように偲んでいます。

■川崎図書館大師分館（プラザ大師）

プラザ大師というと、大師公園近くの大師支所と間違える方が多いのですが、東門前小学校に勤めていた恩師から、「大師線の川崎大師駅から若宮八幡宮の方へ向かって歩き、その斜め前のマンションの2Fでしょ」と言われた時は感激しました。その若宮八幡宮では、毎年4月に国際的に有名な、かなまら祭りが催され、地元の方や外国人観光客などで賑わっています。大師平間寺にも近く、夏の風鈴市は人気です。当館でも、定期的なおはなし会や絵本作家による講演会、毎年11月にはプラザ大師祭りや地域の方による催しをはじめ、おはなし会や本のリユースコーナーを行っています。



『眠る盃』
向田邦子／著 講談社

「シネマ&ドラマな図書館」やっています

第72回毎日映画コンクールの表彰式が2月15日にミュゼ川崎シンフォニーホールで行われます。これにあわせて、川崎市立図書館（分館・閲覧所を除く）では、これまでに大賞を獲得した作品の原作やシナリオ等を集めた特集コーナーを今年も設置いたします。

★開催期間は図書館によって異なりますので、各館に直接お問い合わせください。



編集・発行 川崎市立中原図書館 〒211-0063 川崎市中原区小杉町3-1301 TEL044-722-4932

川崎市立図書館：

川崎図書館(200-7011) 高津図書館(822-2413) 麻生図書館(951-1305) 大師分館(266-3550) 橘分館(788-1531)
幸図書館(541-3915) 宮前図書館(888-3918) 田島分館(333-9120) 柿生分館(986-6470)
中原図書館(722-4932) 多摩図書館(935-3400) 日吉分館(587-1491) 菅閲覧所(946-3271)